

景況・経営動向調査結果

— 平成24年度 第2四半期（7～9月期） —

■ 目 的 ■

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

■ 調査対象 ■

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社（回答289社、回収率72.3%）

※業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

■ 調査期間 ■

平成24年9月25日～10月23日

■ 調査方法 ■

郵送・E-mailによるアンケート方式

■ 分析方法 ■

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 ⇒ 従業員20人以下、商業・サービス業 ⇒ 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

7～9月期実績は、全産業ベースで▲37.7（前回調査比－3.7）

10～12月期の見通しは、全産業ベースで▲32.2（今期実績比＋5.5）

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業ではマイナス幅が大幅に拡大し、非製造業でも建設業以外の業種で悪化するなど、全産業ベースでは▲37.7（前回（6月）調査比－3.7）と5期ぶりにマイナス幅が拡大した。

一方10～12月期の見通しは、製造業で11.4ポイントの改善、非製造業では4.7ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは▲32.2と5.5ポイントの改善見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

7～9月期実績は、全産業ベースで▲29.1（前回調査比－6.1）

10～12月期の見通しは、全産業ベースで▲23.2（今期実績比＋5.9）

■売上・生産額	今期実績▲23.9（-3.6）	来期は製造業・非製造業ともに改善見込み
■利益・採算面	今期実績▲30.2（-6.3）	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
■資金繰り	今期実績▲20.3（-7.6）	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
■設備投資	今期実績▲25.4（-1.7）	来期は製造業で改善、非製造業では悪化見込み
■雇用状況	今期実績 ▲2.2（-3.3）	来期は不足感が強まる見込み
■経営上の問題点	全産業ベースで14期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ	

※ 上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 <<自社業況の総合判断：前年同期比>>

	7～9月期 実績		10～12月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 29.1		▲ 23.2
製造業		▲ 48.5		▲ 36.3
非製造業		▲ 26.6		▲ 21.4
建設業		▲ 22.5		▲ 26.9
卸売業		▲ 41.4		▲ 24.2
小売業		▲ 36.3		▲ 25.0
サービス業		▲ 13.0		▲ 13.6
小規模企業等		▲ 34.9		▲ 27.7

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上～100
	25以上～50未満
	0以上～25未満
	▲25以上～0未満
	▲50以上～▲25未満
	▲100～▲50未満

前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲37.7〔前回調査比-3.7〕

業種別にみると製造業は食料品や印刷などの悪化から▲62.8（同-20.0）とマイナス幅が大幅に拡大し、過去最低値となった。一方、非製造業では建設業（同+3.9）以外の業種で悪化し、非製造業全体では▲34.2（同-1.5）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは5期ぶりに悪化した。

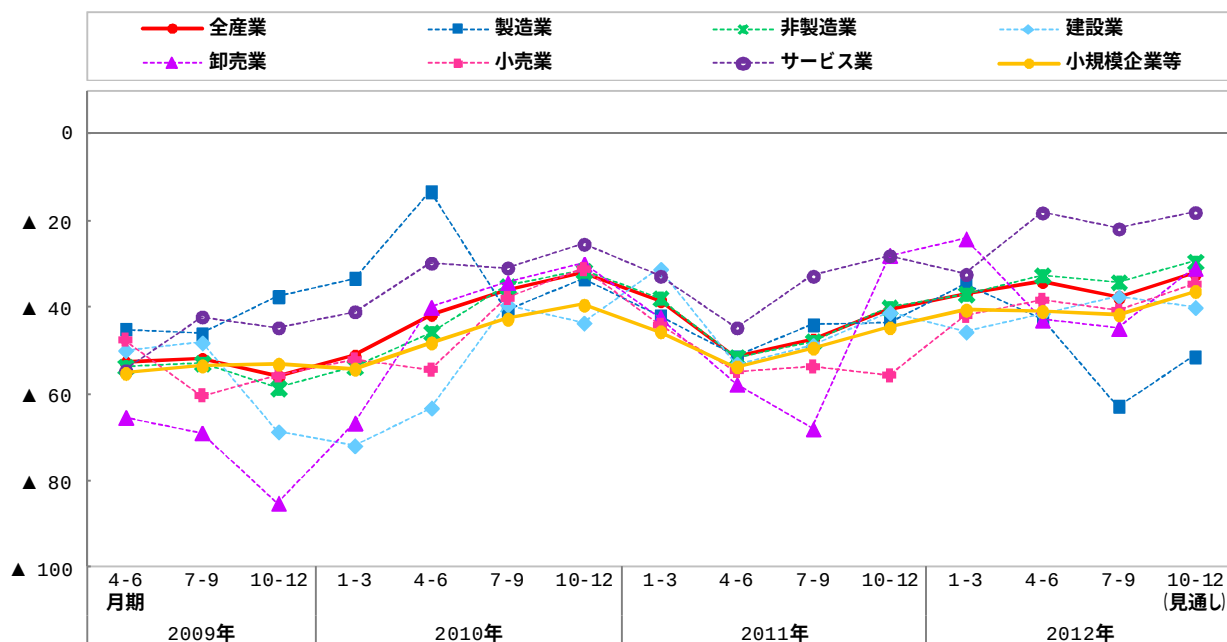
また、小規模企業等は▲41.7（同-0.8）と僅かながら2期連続で悪化した。

BSI：「上昇」－「低下」

2012年10～12月期 見通し
全産業 ▲32.2〔今期実績比+5.5〕

製造業は▲51.4と今期と比べて11.4ポイントの改善が見込まれる。一方、非製造業では建設業（同-2.5）以外の業種で改善が見込まれており、とりわけ卸売業（同+13.9）で大幅改善が見込まれるなど、▲29.5と4.7ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.5ポイントの改善見込み。

また、小規模企業等は▲36.3と今期と比べ5.4ポイントの改善を見込んでいる。



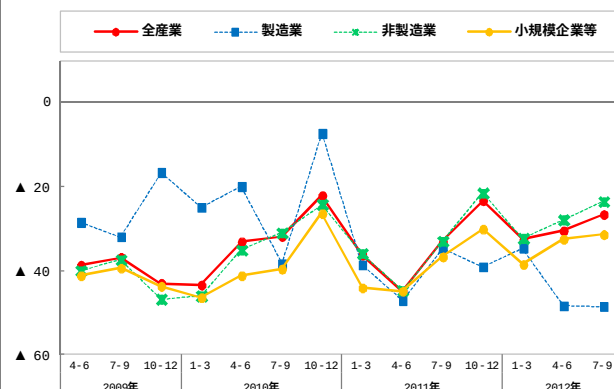
前期（2012年4～6月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲26.7〔前回調査比+3.9〕

業種別にみると製造業は食料品の悪化などから▲48.6（同-0.1）と小幅悪化し、過去最低値を更新した。一方、非製造業では卸売業（同+20.0）や建設業（同+19.8）の大幅改善などから、非製造業全体では▲23.6（同+4.4）と2期連続で改善した。

また、小規模企業等は▲31.5（同+1.1）と小幅ながら2期連続で改善した。

BSI：「上昇」－「低下」



前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲29.1〔前回調査比－6.1〕

業種別にみると製造業は食料品の悪化などから▲48.5（同－11.0）とマイナス幅が大幅に拡大した。一方、非製造業では卸売業（同－20.0）、小売業（同－10.8）の悪化幅が大きく、非製造業全体では▲26.6（同－5.6）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは5期ぶりに悪化した。

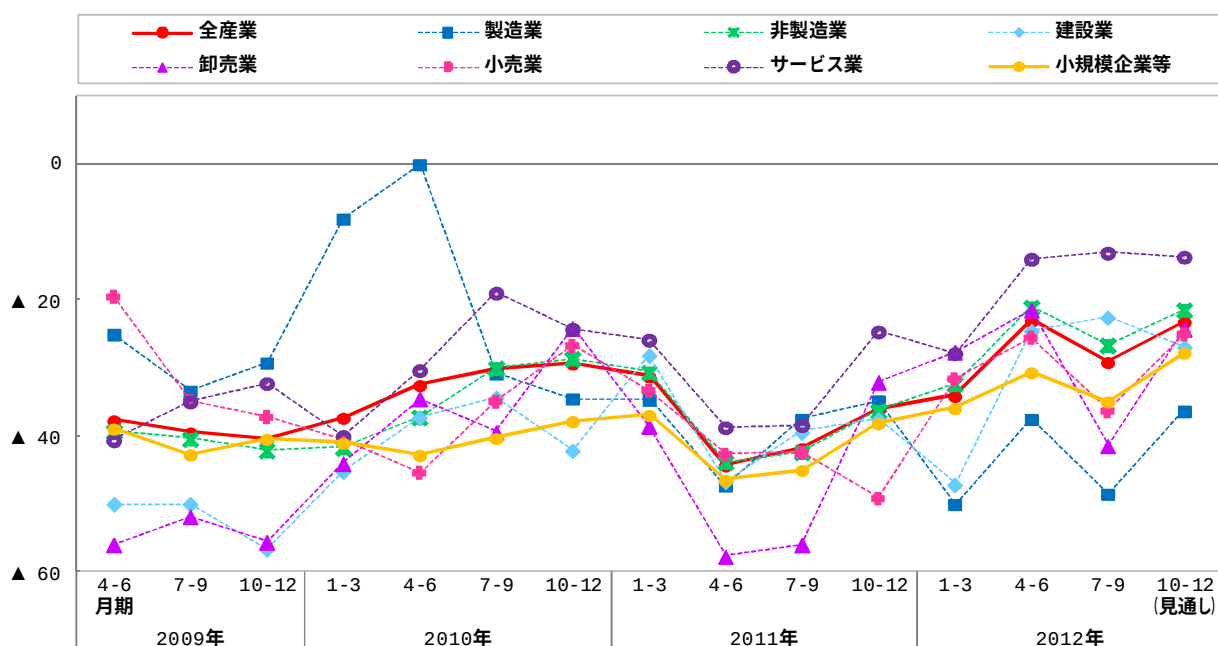
また、小規模企業等は▲34.9（同－4.3）と5期ぶりにマイナス幅が拡大した。

2012年10～12月期 見通し
全産業 ▲23.2〔今期実績比＋5.9〕

製造業は食料品や印刷で改善が見込まれるなど▲36.3と今期と比べて12.2ポイントの改善見込み。一方、非製造業では卸売業（同＋17.2）、小売業（同＋11.3）で大幅な改善が見込まれるなど、▲21.4と5.2ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.9ポイントの改善見込みとなった。

また、小規模企業等は▲27.7と今期と比べて7.2ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「上昇」－「低下」



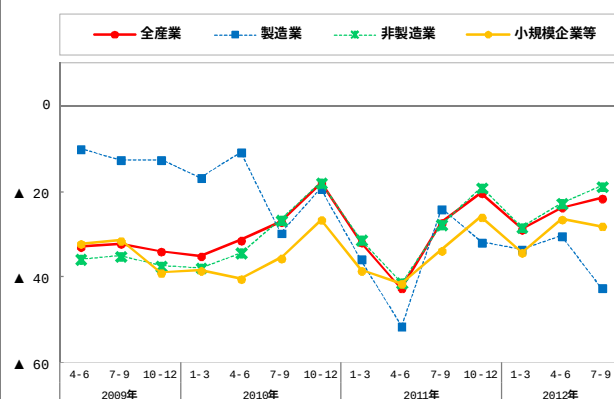
前期（2012年4～6月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲21.5〔前回調査比＋2.1〕

業種別にみると製造業は印刷や金属製品の悪化などから▲42.4（同－12.1）とマイナス幅が大幅に拡大した。一方、非製造業では建設業（同＋22.6）、卸売業（同＋11.9）の大幅改善などから、非製造業全体では▲18.7（同＋4.0）と2期連続で改善した。

また、小規模企業等は▲28.0（同－1.6）とマイナス幅が拡大した。

BSI：「上昇」－「低下」



3

売上・生産額

前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲23.9〔前回調査比-3.6〕

業種別にみると製造業は▲45.7（同-12.4）と2期連続でマイナス幅が拡大した。一方、非製造業では建設業（同+6.4）で過去最高値の▲4.7となったが、卸売業（同-20.2）で大きく悪化するなど、非製造業全体では▲20.8（同-2.4）と5期ぶりにマイナス幅が拡大した。

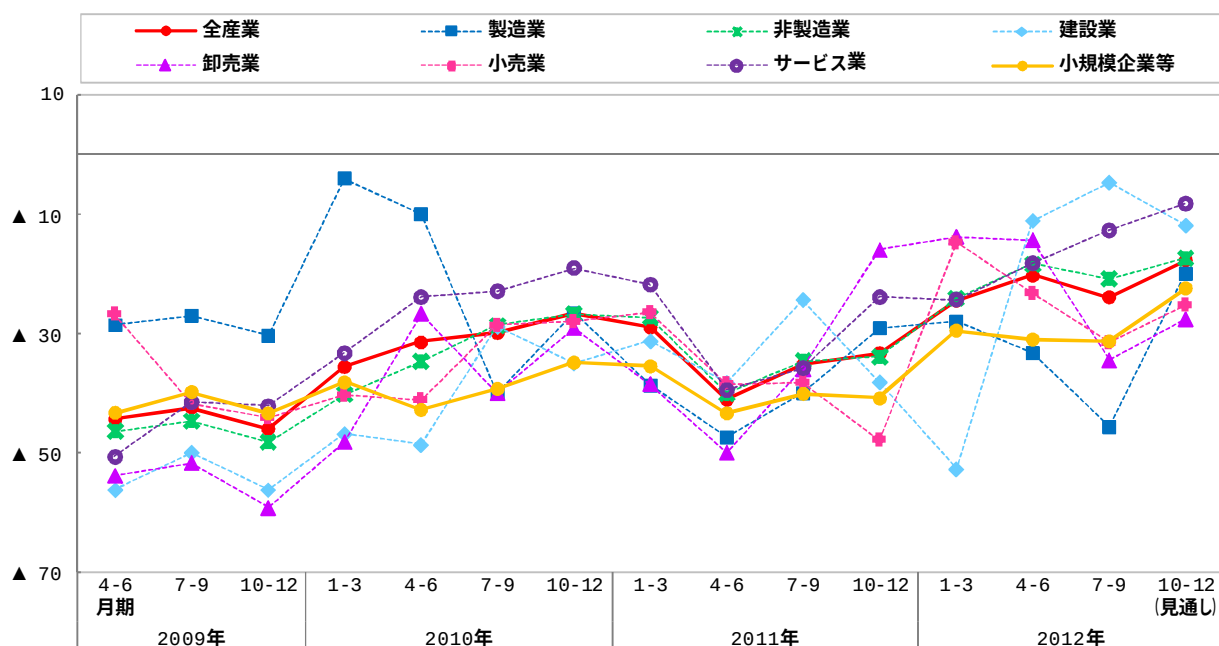
また、小規模企業等は▲31.3（同-0.3）と小幅ながら2期連続で悪化した。

2012年10～12月期 見通し
全産業 ▲17.7〔今期実績比+6.2〕

今期大幅悪化した製造業では▲20.0と25.7ポイントもの大幅な改善が見込まれる。一方、非製造業では建設業（同-7.2）以外の業種で改善が見込まれ、非製造業全体では▲17.4と3.4ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは6.2ポイントの改善見込みとなった。

また、小規模企業等は▲22.4と今期と比べて8.9ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「増加」－「減少」



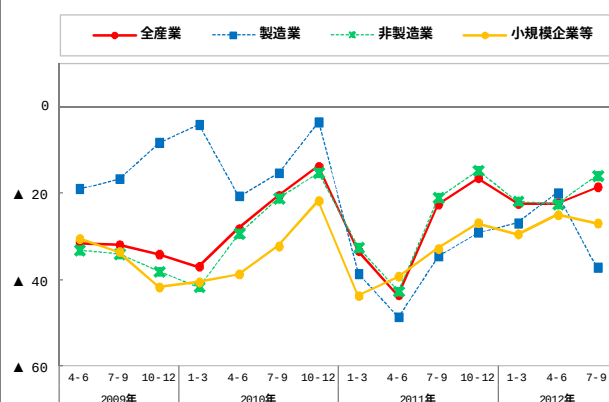
前期（2012年4～6月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲18.6〔前回調査比+3.7〕

業種別にみると製造業は▲37.2（同-17.2）と5期ぶりに大きく悪化した。一方、非製造業では小売業（同-5.9）以外の業種で改善し、とりわけ卸売業（同+24.8）、建設業（同+22.9）の大幅改善から、▲16.0（同+6.6）と3期ぶりに改善した。

また、小規模企業等は▲27.0（同-1.9）とマイナス幅が拡大した。

BSI：「増加」－「減少」



前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲30.2〔前回調査比-6.3〕

業種別にみると製造業は▲27.3（同+1.3）と2期連続で改善した。一方、非製造業では建設業（同+4.3）以外の業種で悪化し、とりわけ小売業（同-17.7）の悪化幅が大きく、非製造業全体では▲30.6（同-7.4）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは4期ぶりに悪化した。

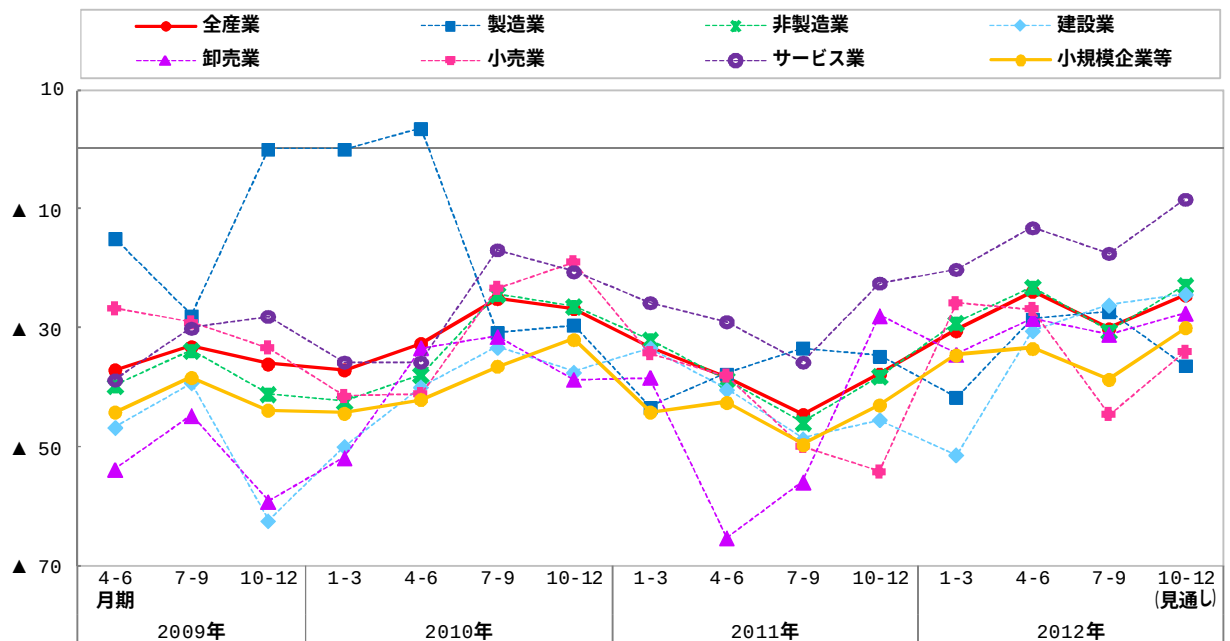
また、小規模企業等は▲38.7（同-5.2）と4期ぶりにマイナス幅が拡大した。

2012年10～12月期 見通し
全産業 ▲24.5〔今期実績比+5.7〕

製造業は▲36.4と今期と比べて9.1ポイントの悪化が見込まれる。一方、非製造業では全ての業種で改善が見込まれ、とりわけ今期大きく悪化した小売業（同+10.5）では大幅な改善見込みとなるなど▲22.9と7.7ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.7ポイントの改善見込みとなった。

また、小規模企業等は▲30.0と今期と比べて8.7ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「好転」-「悪化」



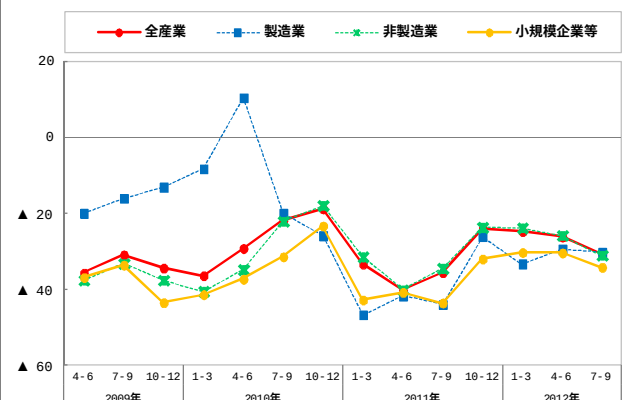
前期（2012年4～6月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲30.8〔前回調査比-4.6〕

業種別にみると製造業は▲30.3（同-0.9）と小幅悪化となった。一方、非製造業では卸売業（同+22.9）で大幅に改善したものの、小売業（同-15.3）やサービス業（同-11.0）の大幅悪化などから、▲31.0（同-5.2）と3期連続で悪化した。

また、小規模企業等は▲34.2（同-3.8）と2期連続でマイナス幅が拡大した。

BSI：「好転」-「悪化」



前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲20.3〔前回調査比－7.6〕

業種別にみると製造業で▲15.6（同－3.8）とマイナス幅が拡大した。一方、非製造業ではサービス業（同＋4.2）以外の業種で悪化し、とりわけ小売業、建設業（同－12.8）の悪化幅が大きく、非製造業全体では▲20.8（同－8.0）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは3期ぶりに悪化した。

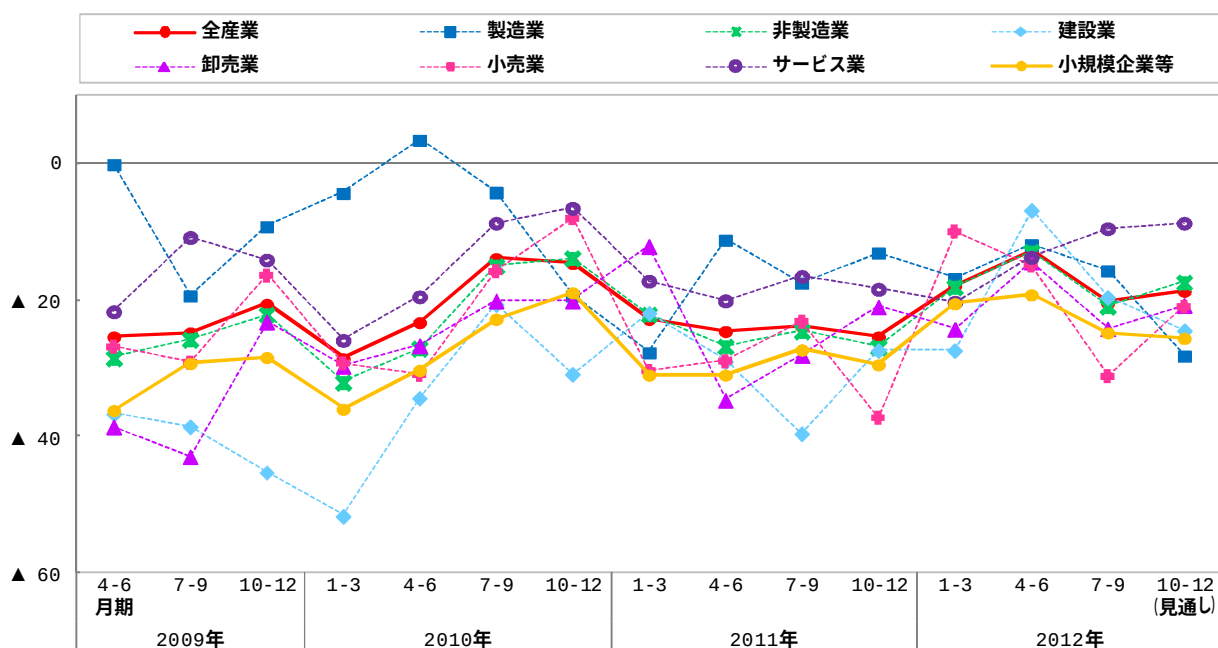
また、小規模企業等は▲24.7（同－5.6）と3期ぶりにマイナス幅が拡大した。

2012年10～12月期 見通し
全産業 ▲18.6〔今期実績比＋1.7〕

製造業は▲28.1と今期と比べ12.5ポイントの悪化が見込まれ厳しい見通しとなっている。一方、非製造業では建設業（同－4.9）以外の業種で改善が見込まれ、非製造業全体では▲17.3と3.5ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは、1.7ポイントの改善見込みとなった。

また、小規模企業等は▲25.5と今期と比べて0.8ポイントの悪化を見込んでいる。

BSI：「好転」－「悪化」



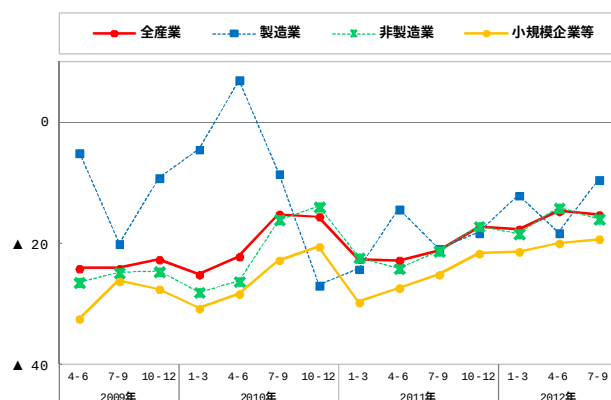
前期（2012年4～6月期）と比較して

2012年7～9月期 実績
全産業 ▲15.2〔前回調査比－0.6〕

業種別にみると製造業は▲9.4（同＋8.8）と改善した。一方、非製造業では小売業（同－8.6）以外の業種で改善したもの小幅な改善にとどまり、非製造業全体では▲15.9（同－1.8）とマイナス幅が拡大した。結果、全産業ベースでは2期ぶりに悪化した。

また、小規模企業等は▲19.2（同＋0.7）と小幅ながら6期連続で改善した。

BSI：「好転」－「悪化」



前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績

全産業 ▲25.4〔前回調査比-1.7〕

業種別にみると製造業は▲38.2（同-20.5）と大幅に悪化した。一方、非製造業では卸売業（同-25.9）で大きく悪化したものの、それ以外の業種でマイナス幅が縮小し、非製造業全体では▲23.6（同+1.0）と3期連続で改善した。結果、全産業ベースでは4期ぶりにマイナス幅が拡大した。

また、小規模企業等は▲30.8（同-0.4）と僅かながら悪化した。

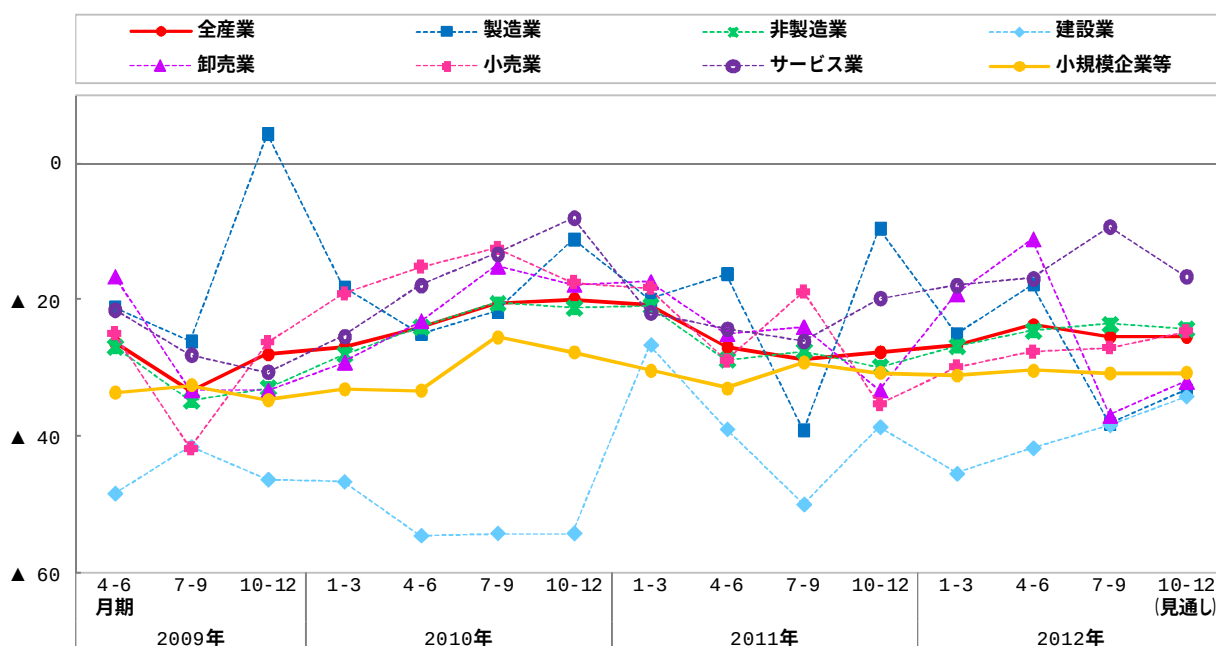
2012年10～12月期 見通し

全産業 ▲25.4〔今期実績比±0.0〕

製造業は▲33.3と今期と比べ4.9ポイントの改善が見込まれる。一方、非製造業ではサービス業（同-7.3）以外の業種で改善見込みとなったものの小幅な改善見込みにとどまり、非製造業全体では▲24.3と0.7ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは今期と同水準の見通しとなった。

また、小規模企業等は▲30.7と今期と比べて0.1ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「増加」－「減少」



前期（2012年4～6月期）と比較して

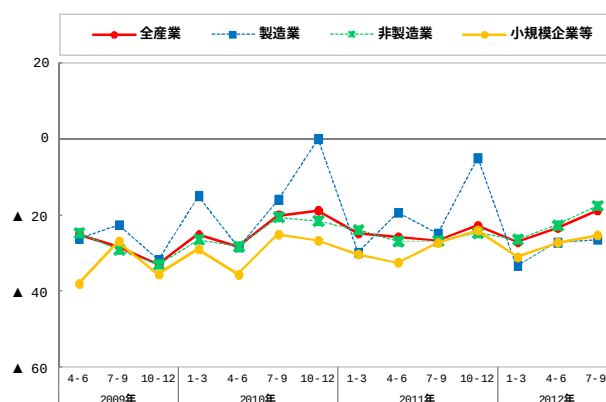
2012年7～9月期 実績

全産業 ▲18.8〔前回調査比+4.6〕

業種別にみると製造業は▲26.5（同+0.8）と2期連続で改善した。一方、非製造業では卸売業（同-16.7）以外の業種でマイナス幅が縮小し、非製造業全体では▲17.6（同+5.2）と改善した。結果、全産業ベースでは2期連続でマイナス幅が縮小した。

また、小規模企業等は▲25.4（同+1.9）と2期連続で改善した。

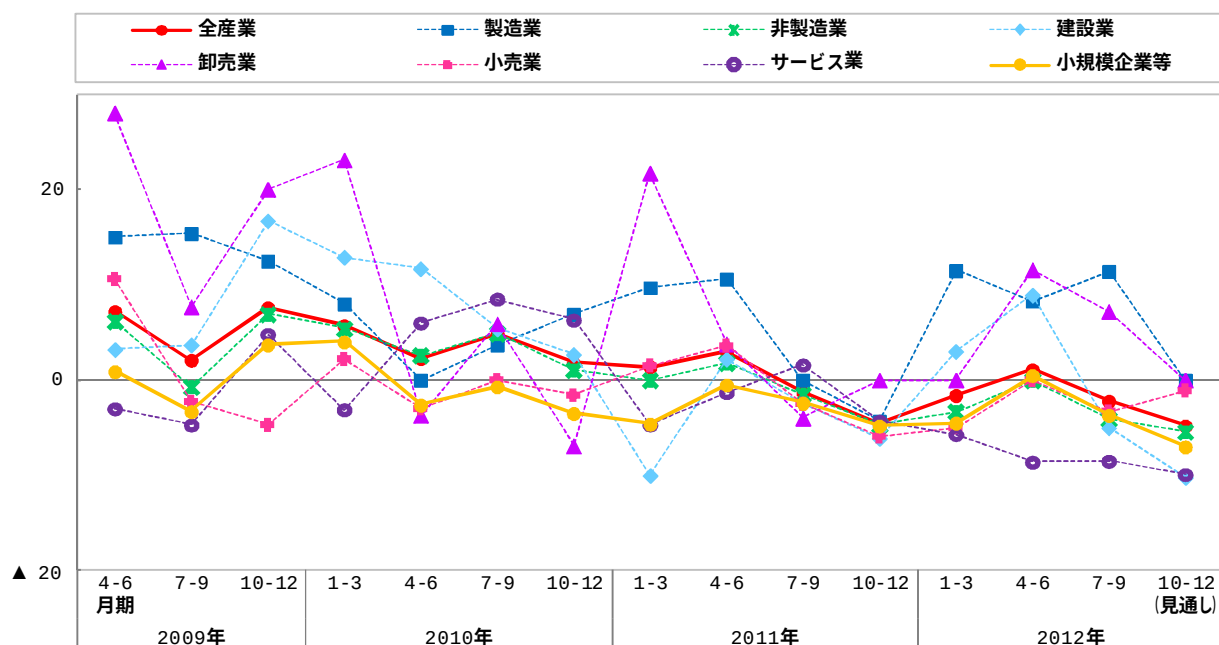
BSI：「増加」－「減少」



前年同期（2011年7～9月期）と比較して

2012年7～9月期 実績	2012年10～12月期 見通し
全産業 ▲2.2〔前回調査比-3.3〕	全産業 ▲4.8〔今期実績比-2.6〕
業種別にみると製造業は「過剰」とする割合が増え、11.4（同+3.1）とプラス水準（「過剰」超）で推移。一方、非製造業では建設業（同-13.9）と小売業（同-3.3）でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど、非製造業全体では▲4.1（同-4.1）と「不足」とする割合が増えた。 また、小規模企業等は▲3.7（同-4.2）とマイナス水準（「不足」超）に転じた。	製造業は0.0と今期と比べて「過剰」とする割合が減る見込み。一方、非製造業では小売業で「不足」とする割合が減るものの、それ以外の業種で「不足」とする割合が増加し、非製造業全体では▲5.4と「不足」とする割合が増える見込み。結果、全産業ベースではマイナス水準（「不足」超）で推移する見通し。 また、小規模企業等では▲7.0と「不足」とする割合が増える見通し。

BSI：「過剰」－「不足」



前期（2012年4～6月期）と比較して

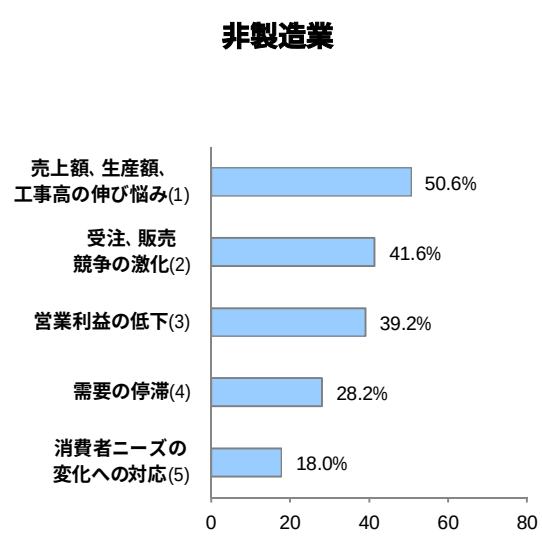
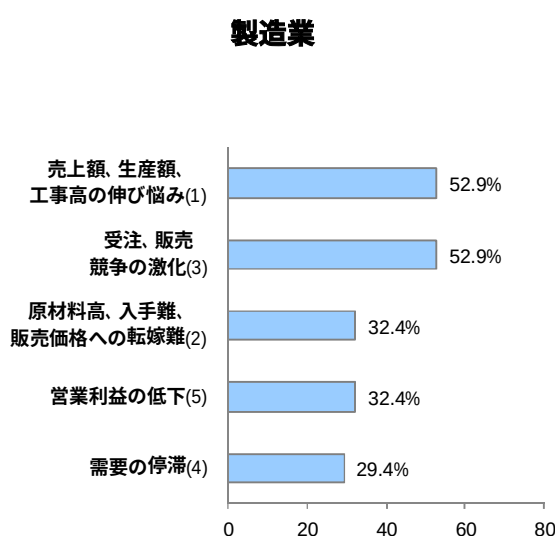
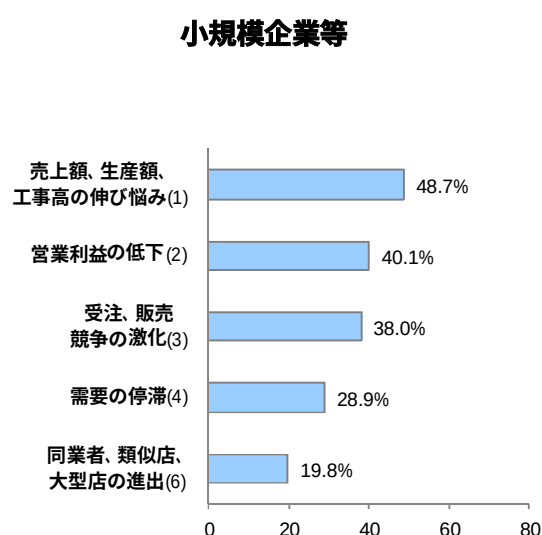
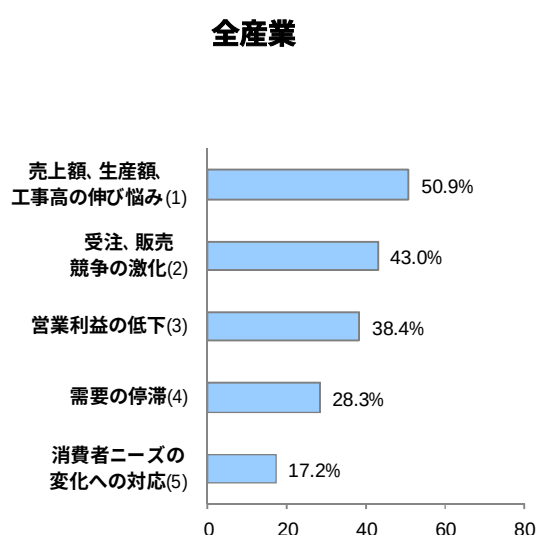
2012年7～9月期 実績	BSI：「過剰」－「不足」
全産業 ▲3.3〔前回調査比-4.4〕	
業種別にみると製造業で8.6（同+5.6）と「過剰」とする割合が増えた。一方、非製造業では全ての業種で「不足」とする割合が増え、非製造業全体では▲5.0（同-5.9）とマイナス水準（「不足」超）に転じた。 また、小規模企業等は▲6.0（同-7.7）と「不足」とする割合が増え、マイナス水準（「不足」超）に転じた。	Legend: 全産業 (All Industries), 製造業 (Manufacturing), 非製造業 (Non-Manufacturing), 小規模企業等 (Small Enterprises)

8 経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースでみると、トップは「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（50.9%）」。

前回調査から5.3ポイント減少し、製造業では「受注、販売競争の激化」と同率でのトップとなったものの、2009年4～6月期の調査開始以来14期連続でのトップで非常に根深い問題点となっている。

その他の特徴的な傾向として、小規模企業等では「同業者、類似店、大型店の進出」の回答割合が増え、第5位となった。



※ 各項目の括弧内の数字は前回（6月）調査時の順位